

の才ニ航空軍司令官

[Redacted]

閣下より朕隊に付いて特に各

分隊は敵中にありて任務の完遂云々と賞詞を戴き緊急報込にて

全満に達せられた程であった。当時としては全く頭の下る立派な働き

ぶりであった。えも停戦になり [Redacted] 君達の御活躍に對し何等報中

るよりも出来ませず直接の長としての私は勿論御両親格初め御親類

御一同格の御無念如何ばかりかと想ふだけに残念で御座います。全く優

秀な人なとせられた。それは任務とは申せ誠に申訳がなく思っております

何分何百軒を離れた所に居て唯無線機のみを唯一の連絡手段として

ありましたものです。から戦死の模様など詳しく申上げるよりも出来ませず

亦遺骨遺品等の搜索手段もありません。はつきりとした御報告

を申し上げざるの出来ません。と何卒御許し下さい。尚御伺ひて御

報告申し上げぬのが至当とは存じますが何分遠方ですとて参上も容

易ならず御諒承下さい。

先はとり急せ御一報迄

敬具

[Redacted]

[Redacted]

戰時死亡現認證明書

頒製年月日昭和三年一月廿日
現認者所屬滿洲第八三六部隊
附氏名印 陸軍部長

區分

記

事

本籍地

所屬部隊

現認 滿洲年徵集第八三六部隊

役種 徵集年

現役 以十九年徵集

官等級身分終月給額氏名

陸軍 兵長

年 月 日

留守擔當者住所

続柄氏名

父

死

年月日時及區分

昭和二十五年八月十日

時令 戰死

場

所 滿洲 海林

備

(州) 名 聖地

戦地到着 年月日
昭和十九年八月十日 (圖何録由軍定)

勤 務 概 要
昭和二十年六月廿一日秋東一六九四部隊(教育隊)ニシテ
戦地通信ノ教育ヲ受ケ、原隊ニ派遣(参上)ニシテ、初年其教育
又ハ戦地通信ニ従フセリ。

受 傷
年月日 時 昭 和 二 十 一 年 八 月 十 日 時 介

傷 傷 場 所 満 洲 海 林
傷 傷 (病) 名 壓 轍

受 傷 (罹 病) 状 況
列車が急停車シタル處一貨車ト車体加押シラサレシニ
撲マレタル由。

戦 死 (罹 病) 状 況
暗夜列車ニテ移動中ノトテ多数一掃ナリシニ、疾速モ
判然セザリシモ、人算莫呼ニヨリ戦死シテ、遺体ナシ。

死亡現認(確認)證明書

◎裏面記載上の注意を見て書いて下さい。

※(調製月日) 昭和26年7月5日
 ※(調製官署)

資料提供者		死者の資料										
死亡と知つた方法	遺留品	遺骸の處理	死諸元				現留守擔當所者	本籍地	届の有無			
			死亡區分	發病時	傷病名	死亡場所			死亡日時	隊部	屬所	
平壤南下の爲残置患者であつて新京取出る時死したと聞いた			戦病死		肺病	新京二陸病	昭和二十年八月十三日	内	都道府県	戦車二師防空隊	隊部	屬所
本人との關係	同一病院の婦長							容			(召應地現)孤役	
隊部屬所	所住現		※	※	※	※	※	部		種	兵	
新京二陸病			甲	甲	甲	甲	甲	度				
官等名			(死當時の状況)					記		(後)級等官(前)	※	現士
								事	名氏者當擔守留	名	氏	
									續柄(父)	年	月	日生

戦死證明書

年 月 日生

君は興安西省阿魯科爾沁旗勸業科畜産関係に
参事官を隊長とする南東軍の命に依りソ連軍後方攪
乱遊撃部隊に従事し日ソ交戦の報を受くるや
下之が目的遂行の爲山中に寄るべく出動ソ連軍南下の報
ありたるも日本軍の部隊全然不明の爲中途より遊撃部隊に
合流すべく出動中崑都西北方陣地付近におりて生死不明となる
(昭20.8.13)阿魯旗遊撃部隊最初の生死不明者なることを証明
す

尚阿魯科爾沁旗 隊長以下全員爾後又戦に於て

戦死 警察官より阜新に脱出他日系全員戦死す

右



君ヲ戦死确实なることを証明す

昭和四十年一月七日



昭和28年10月22日
 留守業務部第五課
 田部 木四課
 世祐課長殿
 印

留守業務部第五課
 田部 木四課
 世祐課長殿
 印

田部 木四課
 世祐課長殿
 印

世祐課長殿
 印

本名と同行勤者(死亡現認者)
 (元々尉)

要 摘 宛 由経 発 輸 発

入手経緯
 10/1
 代合調(東京)
 官査調
 氏氏
 田部 木四課
 印

調査担当官公署所見
 一、死亡現認者
 二、死亡現認者
 三、死亡現認者
 四、死亡現認者

資料区分
 の変更
 旧 生見
 ↓ 新

(意注の上載記)
 一、本証明書は、未帰還者の死亡の処理を行う場合の基本となる證據書類でありますから特に正確に書いて下さい。従つて、記憶が不確実なる箇所には？をつけてその旨を明かにして下さい。
 二、死亡を知つた方法の欄には、自から現認した(見た)死水をとつた、臨終に立会つた、屍衛兵に立つた、慰靈祭又は葬儀に立会つた、誰々から聞いた、死亡したことを命令等で見た等死亡事実を知つた方法を具体的に書いて下さい。
 三、死亡当時の、状況はなるべく詳細に記入して下さい。又参考資料として「貴方の外に本人の死亡事実を知っている人があればその人の氏名、所属部隊、本籍地等」「死亡者の特徴(容貌、体格、特業、前職等)」「死亡者が軍属の場合は、その官等俸給(日給)、採用年月日等」その他死亡者について御承知になつてゐることは附記して下さい。
 四、資料提供者の記入欄中記入の出来なかつた事項を、調査官が訂正又は補備した場合「」を附して記入し、資料提供者の記入したものを明瞭にすること。